

JID NEWS

社団法人 日本インテリアデザイナー協会月報

1981 4・5

1980協会賞決まる

1980年度のJID協会賞が決まった。今回も会員からの推薦候補対象と選考委員による追加推薦をもとに、選考委員会が開かれ、討議のすえ決定をみたもので、先の55・第6回理事会に経過が報告されている。

今回は後述の3人の方々が受賞されることになった。授賞式は恒例により、本年度の通常総会（5月22日、大阪で開催）当日の授賞パーティ席上でとり行われる予定です。

以下、選考委員会の選考経過報告が委員長より提出されましたので、速報いたします。

<選考委員会報告>

委員長 渡辺 優

1980年度協会賞は、2月に開かれた選考委員会において、慎重な検討の末、全員の賛意を得て、下記3件に決定した。

今年度は、会員からの推薦が少なく、選考委員が追加推薦したものを中心として論議された。

① 〔作品〕 “一連の家具、室内、建築のデザイン”

内田 繁氏

② 〔業績〕 “西洋家具史の研究と著作活動”

鍵和田 務氏

目 次

● 1980 協会賞決まる	1
● 昭和56年度の通常総会は大坂ナニワの町で	2
● 55・第6回理事会議事録	4
● 住宅見学記	6
● インテリアデザイン講演会	7
● 『インテリアマップTOKYO'81~'82』刊行報告	8
● 野口寿賀子さんより寄附をうける	8
● 昭和56年度Gマーク商品選定について	9
● デザイナーへの増税か	10
● 56年度文芸美術健保案内	11
● 会員の消息	12
● 事務局短信	16

③ 特別賞

〔業績〕“家具業界におけるデザインプロモーション”

故 野口寿郎氏

① 幅広いデザイン活動の中で、一貫した姿勢をくずさず、独自の主張を展開し、そのデザインの手法は、多くの人たちに強い影響を与えて来た。それら一連の作品の高い水準が評価された。

② 長年にわたる西洋家具史の研究と、その研究の成果としての数々の著作活動は、我が国のインテリア界において、大きな役割を果たして来たことが認められた。最近の著書に見られるような研究の深さと同時に、専門外の人たちにも興味深く理解できる平易な表現による啓蒙的な活動も見逃せない。

③ 少年店員として三越に入社以来、家具設計の道を歩み続け、三越を退職後も天童木工、小田急百貨店において活躍、晩年は日本デザイナー学院長を務めるなど、後進の育成にも力を尽し、我が国の家具業界に欠かせぬ存在として、多くの人に親しまれた。今回はとくに、すぐれたデザインの家具を世の中に供給するプロモーターとし

ての功績をたたえ、特別賞とした。

昭和56年度の通常総会は 大阪ナニワの町で

— 5月22日総会、23日各種研修会を計画 —

4月中旬、会員各位に関西支部よりの「お知らせ」をすでに発送いたしました。過去12回の総会が、東京のみで行われていたことに気づき、会務の活性化・清新化の面でも大変よいことではないか、との意見が総会担当の総務委員会（中村圭介委員長）と、川崎浩新支部長のもと、最近とみに活発になっている関西事業支部の合意で提案、理事会でも了承され、現在関西支部で精力的に準備が進められています。

以下、「'81大阪総会（第13回通常総会と研修会）のお知らせ」から再録します。5月の“大阪ナニワの総会と研修会”にぜひ参加しましょう。

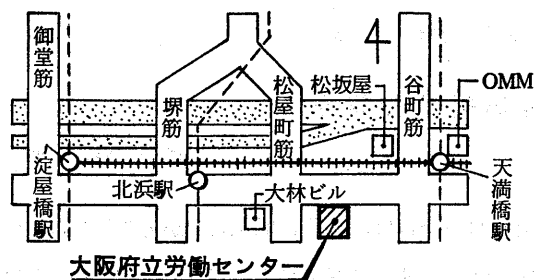
尚、「総会議案書」などは例年通り、5月初旬本部事務局より全会員のお手元に配布されます。

● 総会・協会賞授与 及び 懇親パーティ

日 時 56年5月22日（金） PM 1:30～7:00

場 所 大阪府立労働センター 大阪市東区京橋3丁目15番地

TEL (06) 942-0001 (代表)



● 参加費 8,000 円（当日会場にて申し受けます）

● 研 修 会

日 時 56年5月23日（土）

- 場 所
- A. 河内重文民家を訪ねて
 - B. 神戸北野町異人館街散策
 - C. 81ポートピア神戸博見学

● 当日のスケジュール

5月22日(金) PM 1:30 第13回 通 常 総 会

}

3:30

PM 3:40 イベント「カッシーナのウインクチェアの開発」

JID会員 喜多俊之氏, 一和才洋魂のすゝめスライド併用

}

世界のデザイン界に旋風を巻き起した喜多氏のデザインキャラクター, 人と物, 双

4:30 方からの興味あるプレゼンテーションです。

PM 5:00 協会賞授与 及び 懇親パーティ

}

場 所 同センター内 10Fホール

●受賞者 内田 繁氏, 鍵和田 務氏, 故野口寿郎氏

7:00 閉 会

●ナイトスポット大阪北新地探訪

5月23日(土) 研 修 会

関西会員の案内による見学・研修会

遠来の友人の為に特に用意された, 3コースは夫々充実したすばらしい内容です。

奮って御参加下さい。

A コース ●河内民家を訪ねて

江戸中期の庄屋, 羽曳野の“吉村家”と住吉鞍作町の“奥田家”。共に極めて保存

良く, 茅葺きの大屋根と広い前庭を持つ, 大和河内地方の民家の典型であります。

他に, 店舗建築の古典として, 八尾の菓子老舗, 桃林堂を見学します。JID会員の
のために夫々当主の方が特に説明して下さいます。

B コース ●神戸北野町異人館街散策

神戸の山手の住区, 坂と建築が光る町, 北野町に点在する異人館の数々とJID会

員安藤忠雄氏の建築群, 港神戸を一望にしながらの, みてあるき。

C コース ●'81ポートピア神戸博見学

80年代の文明文化をどうみるか, 港神戸が提供する夢の島ポートピア, 万博以来の

デザインの粋がいっぱい。海の風もいっぱい!

- 総会についてのご質問は, 本部事務局(03-403-3649)又は関西事業支部事務局(06-262-5664 菊部長)まで。

(事務局)

55・第6回 理事会議事録

日 時 昭和56年3月27日(金) 2:00~6:00PM

場 所 JAA2階会議室

出席者 理事長 三輪 正 弘

副理事長 泉 修 二

名誉理事 岩 瀬 要 三

理 事 榎田 均, 川崎 浩, 木村戦太郎,

白石勝彦, 中村圭介, 松本政雄

(委任状) 坂本康四, 垂見健三, 長 大作,

富田卓司, 長岡貞夫, 樋口 治,

渡辺 優

はじめに議事につき、三輪理事長より説明あり。泉副理事長補佐にて、報告事項より審議に入る。

I. 報告事項

① 昭和55年度事業報告及び収支決算報告と年度監査について事務局より提出された事業報告(案)及収支決算中間報告資料に基き、報告が進められた。本部事業については、4通常委員会(選考、総務、広報、渉外)の活動状況の詳細が報告され、また、支部事業についても各支部提出の資料により報告が行われた。5特別委員会(報酬基準、業務、調査、出版、新マップ)についても同様の報告がなされた。55年10月のインテリア研修セミナーの成果についても説明があった。最後に事務局の活動についての報告が事務局長より加えられた。以上の詳細については例年通り「議案書」にまとめられ、会員全員に配布、5月初旬、報告されることとなる。尚、昭和55年度監査については4月17日、渡米中の渡辺力監事の帰国を待って行われる予定。

② 1980 協会賞3氏に決まる。

渡辺優選考委員長よりの報告として、事務局長が代行、その内容説明を行った。以下の受賞3氏には、5月22日の通常総会に続く協会賞祝賀会で授賞式が行われる予定である。

○内田 繁 作品「一連の家具・室内・建築のデザイン」

○鍵和田 務 業績「西洋家具史の研究と著作活動」

○故野口 寿郎 (特別賞) 業績「家具業界におけるデザインプロモーション」

③ 第13回通常総会(於大阪)準備の経過報告(川崎理事)

かねてより総務委員会と関西事業支部との連携のもとに進められている総会準備につき、現在までの経過が報告され、併せて各理事の協力が求められた。

さきに、5月22日(金)に決定された、通常総会は会員呼びかけを積極的に行うため、「'81 JID大阪総会一第13回通常総会と研修会」としたい旨、川崎理事より提案され、全員これを了承。また、総会の内容、進行の時間スケジュール、祝賀会翌23日の研修会、数コースの設定など、神戸ポートピア81見学も含めて、資料により詳細説明があり、質疑が加えられた。結果、関西支部を中心にこの方向で準備を進めることで了承された。

④ 協賛・後援関係

① '81トータルインテリアビジネスセミナー(56.3.24~26.東京)

一主催:(財)住宅産業情報サービス

② '81全国優良家具展(56.4.28~5.7.東京)

一主催:全国家具組合連合会, 東京家具組合連合会

③ 第7回 ICS 北欧デザイン研修旅行(56.7.30~8.12)

一主催:インテリア・センター・スクール

以上3件につき、理事会はこれを了承した。

⑤ 雑 件

① デザイン'81ヘルシンキ国際デザイン会議(56.8.1~8)

予備登録の期間が1ヶ月延長され4月30日までとなった。

② 報告書

協会に寄せられた報告書が事務局より提出され、その概要が報告された。「昭和54年度特定サービス産業実態調査」のほか、協賛・後援先からの事業報告である。

③ 新マップ特別委員会が進めていた『インテリアマ

『マップ TOKYO'81~'82』が2月20日に、また、総務委員会担当の『鈴木三スケッチ集』が3月25日にそれぞれ刊行された。特に『マップ』は会員全員に1冊ずつ無料配布がなされた。

II 議 題

① 野口寿賀子氏よりの寄附申出について

協会創立時よりの会員であった野口寿郎さんが逝去されて約半年。このたび夫人野口寿賀子さんから故人に縁の深い当協会に、デザイナー育成のために200万円の寄附申出が寄せられた。理事会として審議の結果、そのご芳志を尊重し、有難く受理することとなった。運用については先方のご希望もあり、別途検討する。

② 昭和56年度事業計画(案)及び予算(案)

委員長連絡会(3月16日)の検討を経た計画(案)、予算(案)が事務局長から提出された。特に事業計画(案)については副理事長が内容説明をした後、審議に入った。その骨子と詳細は理事会で討議の上、通常総会「議案書」に記載されることとなるが、特に討議の対象になった主な諸点は以下の通りである。

④ 事業計画(案)

- 総務委員会関係—大阪での総会運営について。
- 広報 “ ” —会報「インテリアデザイン」の発行は合併号を含め年3回を確保する。
- 渉外委員会関係—②商業施設技術団体連合会及びインテリア産業協議会との協調と連携の点を改善する。

⑤ ヘルシンキ会議に参加する。

- 教育委員会関係—島崎信新委員長が決定している。
- 事業 “ ” —森谷延周新委員長の線を打診中。各事業支部の事業と連携プレーを進めたい。
- 業務委員会関係—諸富幸成委員長が考えられている。会員の資料登録など、そのコストとメリットを吟味したい。
- 各事業支部活動—活動の基盤を確立するための施策を実施する。
- 特別委員会 —報酬基準、出版、新マップが継続事業となる。

- 「通産省デザイン化推進計画」(受託事業)は継続事業となる。

⑥ 予算(案)

前記④の計画の裏付けとなる予算(案)については、各項目につき、その詳細内容が事務局長より説明が加えられ、各理事での質疑と討議が行われた。特記事項としての主な諸点は以下の通り。

- 会員の拡充については正会員、賛助会員を重点対象とする。
- 関西地区での、「大阪デザイン団体連合」設立に参加しているが、結成後は団体会員として入会する。
- 提出の予算原案のうち、本部事業↔支部事業間の予算額修正を行い、約2%程度、支部事業の増額を計る。
- 前記、議題①の野口基金(仮称)200万円及び、受託事業の通産省デザイン化推進計画委員謝金135万円の取扱いについては特別会計が考えられるが、それぞれ山田経理事務所(山田久男氏)に事務局長が意見を求めた上で決定したい。

③ 委員会細則改正について(中村理事)

前記、議題②の中、現行の4委員会(選考、総務、広報、渉外)に加え、新たに教育、事業、業務の3委員会が新設され合計7通常委員会となるので、委員会細則を改正する。総務委員会で起案したものを、第13回通常総会で報告し、承認を受けることとする。

④ 役員改選方法の新しい提案(泉副理事長)

現行の役員改選方法の新しい方法として、半数改選を骨子とする泉私案が提出され、副理事長より提案の主旨説明が行われた。結果、通常総会日程及び本年12月頃の役員改選時期などを踏まえ、十分時間をかけて検討して行くこととなった。

⑤ 名誉会員推挙について

会員規定第2条4項(2)及び第6条3項、つまり会員在籍10年を超え、総会時点で満70才を超える以下の該当会員2名の推挙審議要請が事務局より提出された。

- 大山繁三郎(九州)
- 清水 武(関東)

以上いずれも承認。推挙となる。第13回通常総会で

推挙報告と感謝状が贈られる予定。

⑥ 商施連理事候補、代議員候補選出の件

当協会が団体会員として加入している標記団体の、昭和56年度理事候補、代議員候補につきそれぞれ審議が行われ、以下の会員が決定した。

理事候補 一三輪 正弘、中村 圭介

代議員候補一三輪 正弘、片谷 充克、

寺内万佐由、諸富 幸成

任期はいずれも2ケ年である。商施連の昭和56年度通常総会は5月30日の予定。

⑦ デザイン'81ヘルシンキ国際デザイン会議、代表派遣の件

渉外委員会では下記の会員をJID代表として検討して来た旨、川上渉外委員長の代りに木村理事から報告された。三輪 正弘、川上 玲子、渥美 孝道

以上につき理事会はこれを了承。また、三輪正弘会員については、ヘルシンキ会議での同時開催「IFI総会」における議決権を持つ代表としてIFI事務局に登録することが正式に決定された。

⑧ 『日本のインテリアデザイン』年鑑、広告協力の件

現在、最終段階に入っている標記記念出版物の広告協力状況リストが事務局から提出された。現在出版特別委員会(光藤委員長)と㈱六耀社とで広告協力のための作業を続けている。また、会員各位へは事務局からもお願いを出している。しかし、目標数80件に対し現在37件であるので、理事会役員をはじめ有力会員に是非ご協力をお願いしたい旨、事務局長より発言があった。尚、見込先の連絡を受けた場合、具体的フォローは事務局及び㈱六耀社営業部で行うことになっているので、ご協力方を願いたい。

⑨ 感謝状贈呈の件

以下の3件につき、感謝状贈呈につき審議され、いずれも承認された。カッコ内は贈呈事由。

① 野口寿賀子殿(議題①のご芳志に対し)

② 鈴木カメ子殿(『鈴木三一スケッチ集』の原版提供に対し)

③ ㈱CBSソニー出版殿(『インテリアマップTOKYO'81~'82』出版協力に対し)

上記①及び②については第13回通常総会席上で、ま

た③については早い時期に、それぞれ贈呈される予定。

⑩ 入退会関係

入 会

氏 名	推 薦 者
(正)山田 善唯	坂根健一郎、村尾 栄
(〃)木崎 卓	林 寅正、山品 元
(〃)奥山 寿一	山田 晃、山品 元
(〃)小柳 朝一	資格変更 後藤 嘉夫、松本 政雄

退 会

(正)角井 康男 (〃)足立 朋也	会 費 納 入 済
----------------------	-----------

以上の件につき資料に基き審議され、いずれも承認された。次回は56・第1回理事会として5月22日(金)午前11時30分より大阪で開催の予定。

(以 上)

住 宅 見 学 記

— 九州支部で見学会・懇親会 —

昨年から話が出ていたものの仲々実現せず、去る2月14日漸く実現することとなった。

これはその際の報告です。

西鉄久留米駅に集合し見学地へ行くことになっていた。どうも参加者の集まりがよくない。現地へ直接行く会員もあるのではと話し合い菊竹邸へ向う。

駅より車で10分ぐらいの静かな環境の住宅地に位置した処に、白を基調とした近代的なちょっぴりすました感じの2階建住宅があった。

設計は菊竹清訓氏、インテリアデザイナー協会九州事業支部会員である菊竹清輝氏(弟)のために設計された住宅である。

静閑な地域の小川の流にそった路地に直接白の建物が建ち、白い壁面に1ヶ所の入口とガレージがある。どう見ても玄関ではない。

南側を見ると庭があり、台形の平面をした三面縁ガラスのサンルームを思わせるものが、南側壁面部より突き出ている。階段を上りタイル張りの前庭に入る。何と玄関ホールである。玄関のガラス一枚戸を開け中に入る。

正面に居間側の南テラスへの通り抜けのためのガラス一枚板戸がある。テラスには150cm角ぐらいの白タイルが張っており、1ヶ所に樺の樹木が一本冬の日ざしの中で淡い影を落している。隣との塀も小さな石づみのものでかなり高く築いてあるが圧迫感はない。

玄関ホールで挨拶をしてホールに上る。玄関との段差も10cm位いで、玄関から室内に入るという抵抗感がまったくない。ホールの左手がキッチンで南側に面し横長のガラス窓があり、主婦は来客はもとより、道路の様子も一目瞭然することが出来る。内部は暖色系の台所ユニットでまとめられている。

ホールの左右共にオープンでドアはない。

右手居間へ案内される。30㎡ぐらいだろうか、東側に腰までのキャビネットが壁面一杯取付けてあり、上には民芸的な小物が整然と美しく置れている。

南側の半分弱は2階までの吹抜けであり、大きな丸チョウチンによる照明がさがっている。

吹抜全面総ガラスである。室内も白が主体であるために空間構成から、何か寒さを感じるが冬の日ざしが部屋一面に差し込み暖かさを感じた。

北側には障子がある。障子を開けると小じんまりとした日本庭園が目に入る。

一般には南側に庭園をとる、とったく逆である。室内から庭を眺めて自然の植物の状態を正面から観察すべきだとの理由から北庭園とされたとの事である。また庭の眺めも障子越しだけでなく、部屋隅部の壁面を一部切り取ったという感じのするL型はめ殺しの小窓を設け視覚に対する、心憎いばかりの配慮がされている。

ホール突きあたりの階段を2階へ、居間北側上部が夫婦寝室。寝室から南側の居間吹抜け部分は腰までキャビネットなどが全面取付けてあり、その上部は桟格子である。ガラスも何もなく吹抜けを通し居間とはすべてオープンである。一階の大チョウチン、南側テラスを眺めることが出来る。

台所上の南側に子供部屋、書斎が続いており、特に子供部屋の机は居間吹抜け部分に取付けてあり、桟格子で正面構成してある。やはり居間を眺めることが出来る。障子の長方形小窓を南側に設け部屋全体落ち着いた感じである。一歩部屋を出ると廊下北側は全面ガラスであり外部とのつな

がりを肌に感じる。

突きあたりの西側に洗面、トイレ、風呂があり、風呂は北、東側共に浴槽より上は全面ガラスで庭の景色も一望できる。実際に入浴した場合の心理的なものはどうか、菊竹氏に聞くのをつい忘れた。

室内には菊竹氏の趣味が随所に見られ、外観とは趣をことした落ち着いた雰囲気が漂っていた。

その後8名で菊竹氏の御好意に甘えて、家族料理に舌鼓を打ちながら、インテリア談議に花を咲かせ、つい時間のたつのも忘れ話し込む。

福岡、日田班は心を残しながら8時過ぎ一歩先に帰路につく。

(九州支部：A・M記)

インテリアデザイン講演会

— 中部事業支部で開催 —

中部事業支部では、中部デザイン協会と共催で、去る1月28日(水)愛知県中小企業センター7F会議室で、理事長三輪正弘氏を迎え60名の参加をえて“インテリア産業の新しい動向”と題して、建築の内側からとらえてお話しいたげた。

1) 戦後35年のインテリアの動き

- 50年代は小住宅、ID、家具の時代とも云われる。
- 60年代は都市化、都市の再開発、商業空間の時代とも云われる。
- 70年代は住宅産業の時代

2) 住宅のなかで本格化するインテリア

- 80年代は住宅の質、広さをクリヤーする。内側の広さ、内部を充実させて、生活と生産がバランスすること。

3) インテリア産業界への提案

- プレファブ住宅に対するものゝ見方、木造住宅それぞれが、プレファブではないか。
- 伝統住宅の手法を見習わなければならない。しつらい、場づくり、Setting, Arrangement, Composition Layout
- 道具の世界をのせていくのが立式の生活、空調の設置
- 壁のない住宅、床の間たる性格を確立する。
- トータルインテリア：生活全体、人間の立ち振るまい

をトータルする。

全体を加算して考える

全体を見通す

- デザイン、生活を見なおす、すべてのものが微分学的に、時間の変化などもすべて纏められて、全体が整合させられる。

Part is to whole, is part is to part.

インテリアデザイナーは、インテリアをトータルな志向をもってコーディネートする。産業全体のなかでもと結ばれた。

なお場所をかえ、理事長を囲み、時も忘れて酌みかわした。

(中部支部広報委員長：堀内啓二記)

『インテリアマップ TOKYO '81~'82』刊行報告

一 新マップ特別委員会 一

JID 20周年記念事業の一つとして『インテリアマップ 500-TOKYO』を発刊して今年で2年目になります。

新マップ特別委員会は、新版『インテリアマップ TOKYO'81~'82』を作るため昨年夏よりCBSソニー出版と共同で作業を進めてまいりましたが、この度ようやく刊行することが出来ました。

そして当委員会の決定により、去る3月初旬 JID 会員全員に無料にて配布致しました。すでに手元にお届けしてあることと思います。

今回の刊行にあたりましては会員皆様方の多大なる御協力を頂きましたこと、心より厚く御礼申し上げます。

出来上ってしまえばどうということも無いのですが、インテリアマップの仕事は、情報集めからはじまり、リスト作り、掲載企業の勧誘等、一連の作業を一定期間に終了させないと、後の編集が出来ませんから、非常に集中的な作業を要求されます。

ましてやスタートした以上、もし途中でギブアップになったら、最初に参加いただいた企業に迷惑となるため絶対完成させなければならない困難な仕事です。

そこで熱意ある会員諸氏に大ぜい参加、御協力を当委員会としてはお願いしたのですが、最終的にはある一定メン

バーによって仕事せざるをえない状況になった時、委員会活動が会員の奉仕や協力によって運営されるかぎり、マップの様に実務の仕事の多いものは、とても本業の片手間に出来ることではなく、JIDとして引受けてよかったのかどうか疑問に思いました。

幸い今回は無事発刊となりマップ委員一同、ほんと胸をなでおろしているところです。

(委員長：長堀 映司記)

野口寿賀子さんより寄附をうける

前会員で、昨冬亡くなられた前会員故野口寿郎さんの奥様、野口寿賀子さんから、別添のような手紙が寄せられ、会員からとしては例のない200万円という寄附の申出がされた。協会では早速55・第6回理事会に諮り、故人とご遺族のご芳志を謹んでお受けすることになった。尚、このお金は野口記念基金（仮称）として、選考委員会でその運営（案）を練り、理事会の了承をとりつけた上で、同委員会野口記念部会（仮称）などが恐らく設けられ、基金の効果的な運営を軌道に乗せることとなろう。来年より実施したい意向だが、具体的な検討は、6月以降、始められると思われる。

(事務局)

社団法人日本インテリアデザイナー協会様

日一日と春らしくなっています。

先般、夫野口寿郎死去に際しましては、皆様より心からの励ましのお言葉やお力添えを頂きまして有難く感謝申し上げます。

おかげ様にて先日百ヶ日忌を無事終りました。少しずつ私どもの生活にも落着きが戻ってまいりました。

つきましては、私ども家族にとりましてこれまで故人が求め続けてまいりました理想をこのまま絶やしてしまふには忍びなく、先般来何にかの形で受け継いでゆきたいと思ひ至るようになりました。

そこで皆様より故人に頂きましたご芳志に対しまして甚だ失礼とは存じますが故人の意志を継ぐ意味でこれからの育ちゆく若いインテリアデザイナーの方々に対し励ましの機会を設けることにより、お返礼に代えさせて頂きたく思ひました。

とりわけ故人が長年にわたり、かわりを持たせていた

だきましたデザイン専門学校、各種学校のこれからインテリアデザイナーとして活躍してゆこうと志す学生に対し、勉学のはげみとなるよう、例えば野口賞のようなものを提供することによって、今後のインテリアデザイン界の発展にお役に立つことが出来ますことなら故人も大変満足するのではないかと思います。

とは申しますものの私ども個人の力ではどの様にしてこの思いを実現してよしいのやら判りかねます。又そのために用意出来ます金額にいたしましても充分なものではございません。

まことに勝手ではございますが、故人にとりましてこれまで各種活動の場で有りました、貴協会のお力をお貸りすることによってこの志が実を結ぶものと、出来ましたら一番の幸と思ひここにお願ひのお手紙を差上げることとした次第でございます。

余り充分な額ではございませんで恐縮ではございますが当方より金200万円を貴協会へ寄附させて頂きそれを基金に先き程らい申し上げました、デザイン専門学校、各種学校の学生に対する奨励賞を貴協会に設立して頂き、その運営に当て頂けましたら私どもにとりまして無上の喜びでございます。どうぞこの様な私どもの気持をお察し下さいまして、皆様におきまして協議お検討下さいますようお願い下さいます様お願ひ申し上げます。

乱筆、乱文ではございますがどうぞお判読下さいます様願ひ致します。

3月24日 大田区池上1-5-15

野口 寿賀子

(注：以上原文のまま)

昭和56年度Gマーク商品 選定について

本年も申請の時期になりました。デザイナーとしても積極的に協力して行きたいものです。以下(財)日本産業デザイン振興会よりの要項の骨子を転載します。

- ① 申請受付期間 56.4.20～5.15 (必着)
- ② 受付機関：(財)日本産業デザイン振興会
- ③ 対象商品：一般家庭生活用品および事務用品。ただし、56.8.31までに国内で販売されている商品で、5.

15までに標準小売価格が確定しているものに限る。

詳しくは「昭和56年度Gマーク商品選定申請要領」

および「選定申請対象品目表」を参照。

④ 事業日程

④ 第1次商品部門別審査(申請商品の搬出入要領等は、申請者に別途文書をもって下記Ⅶの商品部門別業務担当機関よりご通知します。)

1) 機器Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ部門…6月12日(金)から13日

(土)まで。(東京・浅草・東京都立産業会館台東館6階)

2) 家具・住宅設備部門、雑貨Ⅰ部門(陶磁器製食卓用品を含む)、雑貨Ⅱ部門…6月17日(水)から18日(木)まで。(東京・浅草・東京都立産業会館台東館6階)

3) 繊維部門…6月24日(水)から25日(木)まで。

(大阪・船場・船場センタービル1号館地下1階)

⑤ 品質検査および意匠権調査…6月15日(月)から7月31日(金)まで。

⑥ 第2次商品部門審査…8月10日(月)から14日(金)まで。

⑦ 総合審査…8月中旬。

⑧ 選定結果の公表…9月中旬(予定)

⑨ 選定証等授与式…9月中旬(予定)

⑤ 詳細問合わせ先

(財)日本産業デザイン振興会 業務第二部Gマーク係

電話 03(435)5633～4

〒105 東京都港区浜松町2-4-1

世界貿易センタービル別館4階

(事務局)

JPDA創立20周年記念式典

— 日本パッケージデザイン協会 —

日本デザイン団体協議会のメンバーで、友好団体でもあるJPDAが、本年で創立20周年を迎えた。

去る3月26日、国をはじめ、関連業界からも多数の出席を得て、東京、銀座東急ホテルにて式典、講演、パーティと、多彩に記念行事が行われた。

「創立20周年を祝い、パッケージデザインその新たな出

発を」とJPDA 理事長八尾武郎さんは内外へ訴えられています。

記念講演が栄久庵憲司さん(JIDA)により「日本の風景」の演題で行われ引き続き記念式典が、挙行された。来賓挨拶のあと、永年JPDAに貢献された新井静一郎さんほか故人を含む14氏に対し、表彰式がとり行われた。同時に21の企業に対してもパッケージデザインの発展に貢献されたとして表彰が行われた。

また、夕刻からは和やかなパーティが、更に多数の出席を得て行われ、当日に花をそえた。JIDからは山品事務局長が出席した。

JPDAの今後の益々のご発展をJIDとしても心よりお祈りします。

(G. H記)

ミサワホームプレハブ住宅 国際提案コンペ

第7回を迎えた標題コンペの要項が発表されました。以下概略を記します。

① テーマ:「長生きする家」とし、

(イ) その目的のために用いられる住宅部品・設備・用具・機器・家具等のエレメントと、これらを住宅の一部に組み込むことにより、住空間または住宅の価値を高めうるアイデアにはどのようなものがあるのか。

(ロ) それらのエレメントをどのように住空間または住宅に組みこみ、どのように用いれば所期の目的を達成することができるのか。

(ハ) 上記住宅のプラン(部品的で可)や住環境とのつながりをどのように工夫すれば、住まいの機能や性能をいっそう向上させ、所期の目的を達成することができるのか。

② 応募〆切:昭和57年1月10日

③ 賞金:1等150万円ほか、アイデア賞まで。

④ 登録:今回は応募登録はしない。

⑤ 応募方法など詳細は下記へ問合わせて下さい。

〒168 東京都杉並区高井戸東2-4-5

電話 03(332)5111

ミサワホーム総合研究所

プレハブ住宅設計競技'82事務局、

⑥ 尚、上記事務局では、1968~71年までの「国際コンペ」当選作品集(¥1,800・送料とも)を頒布中。

(事務局)

デザイナーへの増税か

一 関東事業支部で

「デザイナーと確定申告」懇話会 一

2月、個人の確定申告の時期ともなり、昨年に続き第2回の税の懇話会(2月20日、於会議室)が開かれた。

今回は、とくにデザイン業に対する個人事業税のことをテーマにとりあげました。当日は特に、税理士山田久男先生にも同席していただいた。会員の方の出席は、10数人などでやかなセミナーとなった。

始めに、一般消費税の導入の見通しやら、収入が8%増えると税金は約30%位増加し、これからは、正に大增税時代に突入すると。

そして、逐次、話の途中から質疑応答的なやりとりに入り、医療費控除のこと、還付請求権は5年間有効であること、諸経費のかけ方は税務署などでも認められている標準率表によるとかとか書くとか。また、海外研修費の査定については、細かいスケジュール表の作成、写真をとる、名刺をいただく、事業に必要であるとの資料をたくさん用意する(そうでなくても、税務署は始めから観光とみているのだから)とか。税務署は、個人の所得がいくらあるかを知らいたために、最近では非常に細かく資料を集めていますヨなどなど。

具体的な例をまじえて懇話会は進められた。

後半は、デザイナーに新たにかかる個人事業税について中村圭介さんの話もつけ加えられた。

日く。インテリアだけでなくファッショングラフィックなどデザイナー全ての問題であること。これは青色とか白色申告には関係なくふりかかること。また、税金の二重取りではないのかなどなど、かつての営業税とは異質なものではあるが、恐らく、57年度からは実施されるのではないだろうかと。

いずれにせよ、税金がへるよりもふえることは確実。時間のたつのも忘れて話はつづく。

終りに、これら事業税のゆくえを見守り研究はしてゆきましょうの言葉で閉会。また、デザイナーの税への意識を大いに盛り上げてゆきましょう、と。（尾上 孝一記）

追記： 尚、当日お招きした税理士山田久男氏は、東京税理士会税務審議会委員などをされているその道の専門家です。税の相談など気軽に乘っていただけるお人柄ですので、下記に連絡先を記します。相談の折はJID会員であることを告げて下さい。（事務局）

山田経理事務所（山田久男所長）
東京都中央区日本橋浜町1-1-2
（セブンスターマンション7階）
電話 03（863）2200

東京国際家具見本市開幕

本年度14回を数える国際見本市が下記要領で開催される。特に本年は全優展で知られた家具展が、視点も新たに同会場の家具館で開かれる。当協会も協賛団体の一つで、また、会期も十分あるので一度訪れてみたい。

- ① 主催：（社）東京国際見本市協会
- ② 後援：通産省ほか各省庁
- ③ 会期：56.4.28（火）～5.7（木）
午前10時～午後4時30分（日曜、祭日は午後5時30分まで）
- ④ 会場：東京都中央区晴海、国際見本市会場

- ⑤ 入場料：一般500円、団体350円（30人以上）
- ⑥ 展示規模
 - (1) 展示面積 50,900 m^2 { 屋内 43,500 m^2
屋外 7,400 m^2 }
 - (2) 総小間数 2,300小間
 - (3) 出品者数 2,000社
 - (4) 出品参加国 53カ国2地域
（政府参加）41カ国2地域
商社出品 24カ国

56年度文芸美術健保案内

会員の中でも、文芸美術健保の有利さから、毎年加入する方々が増えて来ています。新年度にあたり、組合規約の一部改正（保険料の改訂と人間ドック料金改訂）の通知が参りましたので、お知らせ致します。また、末表のように、家族数や収入を勘案して、一般の国民健保より有利になる方は、文芸美術健保に加入されることをおすすめします。

- ① 新保険料（カッコ内はいずれも旧料金）
 - 組 合 員：月額7,800円（同5,500円）
 - 家族一人：月額3,800円（〃3,000円）
- ② 葬 祭 費：組合員（加入後満10年以上）
100,000円（90,000円）
- ③ 総合精密健康診断＜人間ドック＞補助
 - 組合員：25,000円（23,000円）一年度内1回
 - 家 族：13,000円（据置き）－〃
 以上は組合加入後1年以上継続の被保険者
- ④ 一般健康診断補助
5,000円以内一年度内2回以内、1回につき

東京都23区保険料と組合保険料の比較表

(56.4.1)

	東京都23区保険料年額（前年度住民税× $\frac{118}{100}$ ＋1人につき8,400円） 最高限度額 24万円								組 合 保 険 料 年 額
年 収	200万円		300万円		400万円		500万円		組合員(月額 7,800円) 家 族(月額) 1人 3,800円
控除が認められる 必要経費	40 %	30 %	40 %	30 %	40 %	30 %	40 %	30 %	
単 身 者	67,420 ^円	84,950 ^円	124,910 ^円	163,520 ^円	202,460 ^円	240,000 ^円	240,000 ^円	240,000 ^円	93,600 ^円
家 族 1 名 (世帯人数 2 名)			105,530	136,840	175,680	227,600	240,000	240,000	139,200
家 族 2 名 (世帯人数 3 名)					150,980	202,900	230,810	240,000	184,800
家 族 3 名 (世帯人数 4 名)						180,150	205,880	240,000	230,400
家 族 4 名 (世帯人数 5 名)								240,000	276,000

(注) 太線内に該当する方は、文芸美術健保の方が収入に拘わらず一率料金のため、トクであることとなります。

大阪デザインセンター

「遊びの世界」展

大阪デザインセンターでは、既報のように本年度で創立20周年を迎え、記念式典や事業を行っていますが、その一環として去る3月26日～31日、同センター展示場で、標記の特別展を開催した。

「遊びの世界 — もうひとつのデザイン —」展は、日常的な生活や、社会環境からの実用的デザインから離れ、何物にもとらわれない自由な精神の発現、感覚の解放としての「遊びのデザイン」ともいうべき作品を展示した。遊びを通じてもう一度デザインの意味を考える機会にしようという意図のもとに実現したものであった。この方面の著名な方々30数氏のユーモア、ウィット、奇抜さに富んだユニークな作品が多数展示され、参観者の眼を愉しませた。

尚、この特別展にあたり、企画協力5人の方々の一人として、JID関西支部の柘植一毅さんも参加、尽力された。

関連団体のうごき

- 日本建築設計監理協会連合会（設監連）（松田軍平氏は名誉会長になられ、新たに高橋慶夫氏が会長に就任した。尚、同会はJID事務局と同じJAA 3階に本部がある設計事務所会員の全国組織）
- （財）日本産業デザイン振興会（長年会の発展に貢献された石田幸一氏が退任され、新たに4月から小林健夫氏が専務理事として着任された。また、JID会員でもある、業務第一部長の高藪昭氏は同会理事に選任された。）
- 日中生活用品振興会（第4次生活用品振興関係者の友好訪中団を計画中です。①期間：56.11.27～12.3.6泊7日。②経路：東京－北京－上海－東京。③経費：312,000円の予定。④中国国务院軽工業部、生活用品関連工場、公司上海工業展覽館などを訪問する予定。
- 日本デザイン団体協議会（JID, JIDA, JCDA, JPDA, JAGDAが共催した国際デザイン講演会 — 2月4日、東京草月会館、講師：アーサー・プーロス、

スット・イラン両氏 — は104名の参会者があり盛会裡に終了した。特にJPDAからは八尾理事長、JAGDAからは亀倉会長も見え、それぞれ挨拶をされた。JIDからも泉副理事長が顔を見せた。尚、講演内容の詳細はJAGDA NEWSに再録されているので、コピー希望の方はJID事務局までお申出下さい。）

- 愛知県家具団体連合会（恒例により、第23回愛知県優良家具展示会が来る56.5.13から名古屋市国際展示場で開かれる。JID理事長賞と賞はいが中部支部にて本年も用意され、また、松本政雄、堀内啓二、林英光の3会員が審査員として優秀作品の審査に協力することになった。）

会員の消息

- 竹内嶺生（専門店「野亜」を自営していますが、去る3月15日、世田ヶ谷サービス店内にモデルルーム<システムキッチン>をオープンしました。お気軽にお立ち寄り下さい。世田ヶ谷区瀬田4-23-9セブンインテリア内 電話03-709-5451(代)）
- 石黒正範（1960年秋にSDAスペースデザインアソシエートを設立して以来、約10年間皆様方には大変お世話になりましたが、本年度より新たな形で空間創造の分野を追求して行くことになりました。

設計のみの場合、施工のみの場合及び設計施工の場合のいづれにも対応すべく、設計と施工の部門を合わせて持っております。

設計部門：和興スペースデザイン

施工部門：株式会社 和 興)

- 渡辺 力（突然だったのですが、アメリカへ行って来ました。4月12日に帰国したのですが、ジェット時代は便利な反面、大変疲れます）
- 村形 省（この度、7年間住みなれた泊江をはなれて、鶴沼（くげぬま）に転居し、ムラカタ省デザイン室を開設致しました。

東京からは少しはなれましたが、海の香と松風がさわやかな空気のおいしいところです。

今までの経験を活かし、住宅の設計を始め、家具インテリアのデザイン及びコンサルタント等生活にかかわる

ものの創作を仕事としてまいります。お気軽に御相談いただければ幸いに存じます。)

- 嶋佐知子 (去る3月31日～4月5日、銀座ゑり円画廊で、「ながら空間」と題し、現代の茶の間“ながら空間”の展開展を開催しました。私が責任者を仰せつかわっている“グループ81”で行ったものです。グループは建築家、インテリアデザイナー、家具設計家、フードデザイナーなどの集りです。)
- 永原 浄 (東京デザイナーズ・スペースで3月16～21日永原浄ショウを開きました。)
- 中田重克 (東京デザイナーズ・スペースで4月6日～11日、中田重克ショウを開きました。)

- 本多正之 (この度、愛知県工業指導所を退職致しました。)

- 榎天童木工 (4月より東京支店長に星川昭隆が新たに着任いたしました。お世話になりました前支店長清野真司は本社営業部長として赴任いたしました。)

前号の新入会員の佐藤孝男さん(正)の自宅の項で次のミスがありました。慎んで訂正いたします。

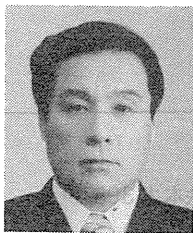
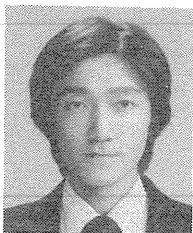
(正) 愛知県春日井市中新町1-11-1 (〒486)

(誤) “ 春日井市新町 ” (〒486)

新入会員の紹介

● 新入会員

正 会 員

やま だ よし ただ 山 田 善 唯 (会員番号 487) 	<勤務先・事務所> <自 宅>	大阪府豊中市蛸池南町1-18-12 〒560 (06) 855-7120
き ざき たく 木 崎 卓 (会員番号 488) 	<勤務先・事務所> <自 宅>	㈱大木研究所 大木建装株式会社 山口県柳井市中開作2617-2 〒742 (08202) 2-3660 山口県柳井市大字柳井3167-9 〒742 (08202) 2-1206
おく やま じゅ いち 奥 山 寿 一 (会員番号 490) 	<勤務先・事務所> <自 宅>	㈱ショップトピア 三重県津市東丸之内12-4 〒514 (0592) 24-1160 三重県度会郡大宮町滝原1018 〒519-27 (05988) 6-2200

こやなぎ あさ いち 小 柳 朝 一 (会員番号 489) 	<勤 務 先> <自 宅>	東京デザイナー学院名古屋校教務課 愛知県名古屋市中区栄4-1-16 〒460 (052) 263-0956 愛知県名古屋市名東区一社2-23大進コーポ403号 〒465 (052) 703-0856
---	---	--

●会員の移動

正 会 員

会 員 名	移 動 事 項	新
剣 持 仁 (関 東) P 54	自 宅	〒193 東京都八王子市散田町1-1-D-901 電話 0426-61-2098
寺 原 芳 彦 (関 東) P 76	勤 務 先	BY・STEP デザイン研究所 〒152 東京都目黒区鷹番2-20-16 福寿ビル602号 電話 03-713-6559
佐 戸 川 清 (関 東) P 61	勤 務 先	佐戸川清デザイン事務所 〒146 東京都大田区池上5-6-20 電話 03-754-1494
村 尾 栄 (関 西) P 139	勤 務 先	ATEIER MANSARDE 〒550 大阪市西区西本町1-12-19 電話 06-532-3988・4133
村 形 省 (関 東) P 98	勤 務 先 自 宅	ムラカタ省デザイン室 〒251 神奈川県藤沢市鵠沼藤が谷3-13-25 電話 0466-26-6734
石 黒 正 範 (関 東) P 31	勤 務 先	和興スペースデザイン 〒107 東京都港区赤坂9-6-26 フォンテ六本木305 電話 03-403-1788
渡 辺 雅 晃 (関 東) P 108	勤 務 先	NABE 店舗設計事務所
諸 富 幸 成 (関 東) P 100	勤 務 先	MDO 諸富幸成デザイン事務所 電話 03-704-4863 03-703-3851「等々力アトリエ」

本 多 正 之 (中 部) P 166	事 務 所	〒 460 愛知県名古屋市中区丸ノ内2-9-15 電話 052-201-4639
------------------------	-------	---

準 会 員

古 谷 悟 嗣 (関 東) P 179	勤 務 先	日本デザインアカデミー 〒 160 東京都新宿区西新宿1-26-2野村ビル4F 電話 03-348-6863
中 沢 ひろし (関 東)	勤 務 先	ADESSO デザイン研究所 〒 150 渋谷区猿楽町6-10 電話 03-462-1769
西 田 浩 人 (関 東)	勤 務 先	上に同じ
村 上 豊 (九 州) P 189	勤 務 先	㈱大丸装工事業部 福岡事務所 〒 810 福岡市中央区渡辺通り5-23-8サンライトビル内 電話 092-712-1540
松 岡 和 吉 (関 東)	勤 務 先	ペントハウス 〒 150 東京都渋谷区猿楽町6-10 電話 03-464-2437

賛 助 会 員

ミサワホーム(株) ホームイング事業部 P 216	電 話 番 号	03-331-1111
---------------------------------	---------	-------------

会 議

[2 月]

6 日 出版特別委員会

広報委員会

10日 総務委員会

13日 出版特別委員会

16日 選考委員会

18日 関東事業支部委員会

26日 出版特別委員会

27日 総務委員会

[3 月]

2 日 広報委員会

5 日 出版特別委員会

10日 出版特別委員会

広報委員会

16日 委員長連絡会

17日 出版特別委員会

24日 ”

27日 55・第6回理事会

[4 月]

6 日 広報委員会

13日 出版特別委員会

16日 関東事業支部委員会

28日 総務委員会

寄贈図書（・印寄贈者）

インテリア産業振興対策委員会	インテリア産業振興対策委員会報告書	2. 19	・通商産業省 生活産業局 住宅産業課
	'81 JAPAN SHOP 『ガイドブック』店舗づくり総合カタログ	3. 25	・日本経済新聞社
・日本建築設計監理協会連合会	会 員 名 簿（1981年版）	3. 25	
・協同組合大川家具工業会	家具産地大川の変遷	4. 1	
・(財)住宅産業情報サービス インテリア産業協議会	トータルインテリア・ビジネスセミナーテキスト	4. 6	
・柴 田 和	すぐに役立つ喫茶店の手づくり演出 インテリア産業振興対策委員会報告書	4. 10 4. 10	柴 田 書 店 ・インテリア産業 協 議 会
実行委員会・事務局 (財)住宅産業情報サービス内)	'80 トータルインテリア・ショー報告書		

事務局短信

- ① 55年度もアッという間に過ぎました。窓外に、外苑の青葉を楽しむゆとりもなく、決算に続く予算、事業(案)作成に追われています。会員の皆様も新年度ということで大変忙しいことと思います。
- ② 昭和55年度の会費未納の方へ。会員各位のご協力でこゝ暫く、請求事務の軽減が目立っていたのですが、また一部滞納の方が目立ちはじめました。5月22日には通常総会が大阪で行われることも決定され、現在「議案書」作成中です。昭和55年度会費未納の方、大至急納入をお願いいたします。
- ③ 年度代りの時期には、種々速報すべき事項があるものですが、今回はどうしても「JID NEWS 3月号」を日程上発送できず休刊、ザンキの念に堪えます。デザイン'81ヘルシンキ会議なども割引登録料の納付期限が3

月末のものが4月末に1ヶ月延期されるなどのお知らせができませんでした。昨年IFI事務局の方へ予備登録された方(9名)には、直接英文の案内と手紙で通知されています。

- ④ 『鈴木三スケッチ集』は去る3月20日頃発送しました。別便で請求書が糊コヨーエンタープライズからお手元に送られたと思います。代金未済の方は至急上記会社までご送金をお願い致します。

(事務局：山品 元)

お知らせ

当分の間、九州事業支部仮事務局は下記の通りです。

〒818 筑紫野市諸田116 溝 口 新方

JID九州支部事務局

(電話 09292-6-2111)

(勤務先：092-541-2668)

JID NEWS 1981/4.5

(日本インテリアデザイナー協会月報1981年通巻第107号)

毎月1回発行 頒価250円

編集・社団法人日本インテリアデザイナー協会総務委員会

昭和56年4月25日発行

中村圭介・川野明・増本敏治・山田晃・山下礼子・

発行・社団法人日本インテリアデザイナー協会

高田紀久枝・杉富士雄・鈴木栄二・山品元・前原誠・

〒150 東京都渋谷区神宮前2-3-16

下島資子・佐藤勝・古谷悟嗣・藤川宏允(関西)

建築家会館3階

印刷所・広洋印刷株式会社

電話 03-403-3649

振 替・東京8-76389